

放送日 令和元年10月1日(火)

担当者 環境課 三好 哲洋

おはようございます。環境課の三好です。私は現在環境課において廃棄物、いわゆるごみの関係の業務に携わっています。ご家庭のごみというとみなさんにとって身近なものと思いますが、家庭での分別は面倒だという声も業務を通じてよく耳にします。一方で習慣になっているから特に面倒とは思わないという方もたくさんいらっしゃいます。みなさんはいかがでしょう。

さて、一方でごみの分別を事業者について考えてみると、面倒である等といった言葉で済ませることはできません。私たちの働く北広島市役所もひとつの事業所ですが、現代の企業には事業活動に伴い法的にも道義的にも一定の責任が生じるとともに高い倫理観が求められています。

自らのことだけではなく全体のことにも目を向けなければなりません。極端な言い方をするならば、北広島市さえ良ければよいという姿勢ではいけないという意味になります。

企業意識は目には見えるものではありませんが、事業者自らが使用のごみ箱の分別状態と企業意識の間には相関関係があると言われていています。企業意識の高い事業者の従業員が排出するごみの分別は徹底されている傾向が強いです。

本日10月1日から庁舎のごみ箱の分別区分がひとつ増えます。これまでより一層分別再資源化を徹底することとなりました。

分別は確かに面倒な側面はあるかもしれませんが、北広島市の看板を背負った北広島市役所の職員として、適切な分別を徹底していただきたく思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月2日(水)

担当者 福祉課 松本 泰暢

おはようございます。福祉課障がい福祉担当の松本泰暢と申します。

障がい福祉担当では、各種障害者手帳の申請・交付、障害者手当の支給、障がい福祉サービスの支給等の事務を行っております。

ひとえに『障がい者』といっても、手足が不自由な方や視覚に障がいがある方など、外見で障がいがあることが分かる方もいれば、聴覚や内部に障がいのある方、知的障がいや発達障がい、精神障がいの方など、外見からは見えづらい障がいのある方など、様々です。こうした援助や配慮を必要としていることが外見では分からない方が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたヘルプマークも市役所福祉課の窓口並びに各出張所でも配布をしておりますので、ぜひご活用ください。

私が障がい福祉担当として着任してより、半年が経過し、感じていることは、行政の立場から障がい福祉の推進に取り組むことはもちろんですが、職員を含め市民の皆さまお一人お一人が、障がいのことを「知らない」「分からない」とはせずに、“さりげない心遣い”“小さな気配り”を日常の生活の中で実践をすることにより、障がいのある方もない方も暮らしやすい地域になっていくのではないかと思います。障がいの有無にかかわらず、誰もが住みやすさを感じ、相互に尊重される地域社会の実現のため今後も引き続き全力で職務に当たって参ります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月3日(木)

担当者 子ども発達支援センター 阿部 洋子

おはようございます。子ども発達支援センターの阿部です。子ども発達支援センターは、今年6月末に栄町の北広島エルフィンビルに移転し、約3ヵ月が経過しました。通所しているお子様や保護者の方達も新しい建物や部屋の環境に慣れてきた様子が伺えます。職員も建物や室内の使用の仕方、物の置き場所などのルール作りといった作業が現在も進行中ではありますが、少しずつ日常の業務のペースを掴んできていると思います。また、この間に職員の皆さま始め、学校や福祉関係など関係機関方々、子ども発達支援センターを利用していた保護者の方々など多くの方が視察や見学にいらっしやいました。

当センターでは、心身の発達に遅れや障がい、心配のあるお子さまの相談、通所指導や保育園等への訪問による発達支援を行うと共に、今年度は18歳までの障がいの重いお子様への居宅訪問支援の実施など、事業を一部拡大し業務を行っております。また、新たな取り組みとして「ペアレント・プログラム」という保護者に対する子育て支援を実施しており、現在全6回プログラムの4回目を終えたところです。子どもの個性にあった子育てを学び、保護者が楽しく子育てに臨む自信をつけることを目的としており、発達に遅れのある子どもだけではなく、育てにくさのある子どもに対しても保護者が関わり方を学べる内容となっております。

これからも関係機関や市民の皆さまに当センターを知っていただき、発達支援が必要なお子様やご家族のニーズに応じた専門的な相談や支援を行うと共に、関係機関と連携しながら地域に根ざした安心して適切な支援を受けられる体制の充実を目指していきたいと思っております。

施設見学は随時可能ですので、職員の皆さま、是非一度足をお運びください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月4日(金)
担当者 すみれ保育園 川村 美香

おはようございます。子育て支援部すみれ保育園 主任保育士の川村です。すみれ保育園は、広葉町に位置しており駅に近い施設です。園舎の横にあるエルフィンロードの遊歩道を通ると、いくつもの公園に行くことができます。小さいクラスがベビーカーで散歩をしていると、ウォーキングをしている地域の方に「かわいいね」と声をかけていただき、ほほ笑ましい場面も見られます。大きいクラスは先日、遊歩道を通って共栄町にある広島公園まで散歩に行きました。交通量の多い道路脇の歩道を歩くよりも、周囲の景色を眺め安全に散歩ができる遊歩道は、子ども達も安心して通ることができます。遊歩道を通して、地域の方との交流をもてたり、散歩の幅が広がっています。

先日、クラス子ども達と散歩に出かけた時、枯れ葉の下からカミキリムシを見つけ保育園に持ち帰りました。飼育ケース越しですが、じっと見つめる子や遠くから眺める子など、興味の持ち方は様々でした。その後、広葉交流センターいこーよの中で開かれている「世界の昆虫大集合」を、みんなで見に行くと興味をもち、それまで苦手だったカブトムシの背中に触れる子もいました。友達と色々な経験をすることで、できなかったことも、やってみようと思えるようになっていきます。また、自然を通して動植物の大切さを育んでいます。自然豊かで緑の多いこの北広島で、幼い頃にしか味わえないたくさんの経験ができるように、これからも保育に励んでいきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員、皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月7日(月)

担当者 土木事務所 浅野 静男

おはようございます。建設部土木事務所の浅野です。

私は昨年4月から土木事務所に配属になっていますが、土木事務所ではこの放送を聞くことはできません。先日、内部研修の中で毎朝のスピーチは聞いているか?との質問がありましたが、私は恥ずかしながら放送を聞けないことに甘んじて今まで確認することを怠っていました。放送後にスピーチの内容はホームページにアップされており、誰でも簡単に内容を把握することができます。また、スピーチの内容は様々であり、自分があまりかかわらない分野の話題もあるので非常に勉強になることもあると思います。

あるテレビ番組に出ている方の座右の銘で「無知を恥じず、無知に甘えるを恥じる」という言葉を聞いたとき、その通りだと感じました。分からないことは恥ずかしいことではない。そのままにして、調べたり、他の人に聞くことしないことこそ恥であるという意味で、仕事をして行くうえでは重要で、自分のレベルアップへの近道だと思っています。また、市民と直接接する業務を行う上で知らなかったでは済まないこともあります。土木事務所では毎日のように市民の方々から多くの要望や意見が寄せられます。昨年の台風や地震災害の対応は特別ですが、通常業務においてもスタッフ総出で対応することもよくあります。自分の業務を効率よくこなすことは当然ですが、周りの状況を把握し、情報共有を図ることができなければ指示ミスが起こり、結局は市民に迷惑をかけてしまうことになってしまいます。自分だけでなく、日ごろから周りと話しやすい環境を作ることで互いに成長できるよう心がけていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月8日(火)
担当者 経営管理課 鈴木 直哉

おはようございます。水道部経営管理課の鈴木直哉です。私は何かを学ぶことが好きで、これまでの市役所業務の中でも、たくさんの研修を受講させていただきました。今日は、その経験から得た、私なりの「研修を受けるための心構え」をお話ししようと思います。

まず研修は、受けさせられるものではなく自ら進んで学ぶものである、と考えています。言葉にすると当たり前のことと思われるかもしれませんが、しかし、市役所の内部・外部の研修であるかを問わず、自己紹介などで「なぜこの研修に参加したか」という話になると、上司に勧められた、あるいは職場内の順番でもう決まっていた、といった内容をよく聞きます。

次に、皆さんは数年ごとに受講する内部研修などを除いて、同じ研修を受講したことはあるでしょうか。仮にまったく同じ講師、同じ内容であっても、私は得るものがあると考えています。例えば、最初その研修を受講したときには理解できなかった内容が、担当業務をこなしていくうちに理解できるようになり、より深い知識を得られることもあるでしょう。また、グループワークがあるような研修では、前はタイムキーパーや書記であったけれど、今回、発表やリーダーを担当することで、その難しさや面白さに気づくことができ、全体として前回とはまるで違う結論を導くこともできます。

そしてもう一つ。内部の研修であろうと、全道の自治体職員が何百人と集まるような研修であろうと、私は何かしら質問をすることにしていきます。講師の話す内容がすべて正しいわけではなく、講師も気づかないような内容を指摘することで、講師自身も成長することができます。また自分が講師をすると考えてみたとき、一生懸命準備した内容に対して誰からも質問や意見がなかった場合には、寂しさ・物足りなさを感じると思うのです。

最後に、研修後の復命書についてです。復命書を単なる報告書と考えているとしたら、それはとても、もったいないことです。復命書は、研修で学んだことを、普段の業務、市役所内の事務処理、さらには北広島市全体にいかにか還元し、役立てていくのか、という自分なりの考えや思いを発表できる場だと私は考えています。

皆さんが次に研修を受けるときには、今日お話しした内容を思い出していただければ、これまでとは全く違う研修になるものと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月9日(火)
担当者 水道施設課 佐野 光一

おはようございます。水道施設課給水担当の佐野です。

給水担当は、主に建築工事に伴う給水装置工事の審査及び検査を行っています。昨年は250件ほどの工事申請がありました。ここで、給水装置とは道路内にある水道配水管より水を取り出したところから、建物内の蛇口までをいいます。審査では、損失水頭が設計水圧を上回ってしまうと、建物内で水が出にくくなるため、重点的に確認しています。給水装置工事の申請は、窓口にて受付しており窓口業務の大部分は指定給水業者となるため、専門的な知識を有することが多く、係内の情報共有に努めているところです。

その他、漏水修繕の報告書が指定給水業者から提出されているところですが、昨年度における給水装置の修繕割合を見てみますと、給水装置の材料の劣化による漏水が約80%で、その大半は配管からの漏水です。配管以外では水抜栓、トイレでの漏水が多いようです。給水装置設置年数は、概ね建築年数と同じであるため、建物が古くなると漏水しやすいので、皆さんもたまに家に付いている水道検針用の隔測メーターをご覧ください。お出かけ前に、蛇口を閉めているのにメーターが動いていれば建物内で漏水しているはずです。また、水道の毎月検針の際に、検針員が気づいた時には漏水の可能性について声かけをしています。なお、屋外漏水も発生している場合がありますので、宅地内にいつも水溜まりが残っているような場合には水道施設課にご相談ください。

これから、寒い季節を迎えるにあたって、屋外散水栓の水落としなど忘れずに行うようにしましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月10日(木)
担当者 監査委員事務局 千葉 哲男

おはようございます。監査委員事務局の千葉です。

監査委員事務局に配属となり早いもので半年が経過しました。今までは常に監査される立場でありましたが、逆に監査する立場になりましたので、常に緊張感をもって日々業務に取り組んでいるところです。

一口に監査といっても定例監査、財政援助団体監査、決算審査、基金運用状態審査、健全化判断比率等審査、例月出納検査などの業務があります。これらの監査において、北広島市監査基準に定める公正で、合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、ひいては市政に対する市民の信頼の確保と公正で透明性のある監査の実施に努めて参りたいと思います。

私が最近読んだ監査の参考図書の中で、財務書類と向き合う流儀・心構えとして、異常な事象が発生していないかどうかを把握するために必要な目が3つある、との記述がありました。1つは全体を俯瞰し概略を把握する鳥の目、もう一つは鋭く観察し、詳細を把握する虫の目、残りの一つは状況変化を見逃さず、流れを見極める魚の目です。常に一市民の感覚を忘れずに、3つの目を意識して財務書類などを監査して参りたいと思いますし、これからも監査能力の向上に努めて参りたいと思います。

また現在、人口減社会においても行政サービスを安定的・持続的に効率的・効果的に提供していくため、その要請に対応した地方行政体制の確立が求められておりますが、監査におきましても平成29年6月に地方自治法が改正され、まずは政令指定都市から先行して始まり、その後は地方都市まで順次内部統制制度が導入されることとなっております。

この内部統制制度により、業務内容やプロセスを再確認することにより事務効率の向上が計られることなどが期待されておりますが、この動きも見極めながら監査業務を進めて参りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月11日(木)
担当者 消防本部予防課 西村 正靖

おはようございます。消防本部予防課の西村正靖です。私がいる担当では、消防法でいう危険物の取扱いに対して規制や指導、助言を行っております。市内の危険物を取扱う事業所などと接する機会が多い担当です。

私は日ごろから大事にしている言葉があります。それは、「一日一生」という言葉です。

この言葉は以前、先輩から教えてもらったもので、私が常々思っていたことを表現していると感じたものでした。

言葉の意味は、「一日は、一生の短縮版であり、一生は一日の積み重ねでしかないのだから、一生を大切に生きることに繋がる。」ということを表しているそうです。

一日は、毎日を漫然と過ごしても、何か目的や楽しみをもって過ごしても平等に過ぎていくものです。しかし、その積み重ねは、最初は小さな違いかもしれませんが、月日が経過すると大きな違いとなるでしょう。

仕事においても、ただ日々の業務を与えられたものとしてこなすだけではなく、何か改善点がないか少しでも意識を向ければ、徐々に大きな変化となり、業務に対してもやりがいを感じ充実した日々を送ることに繋がるものと信じております。

しかし、私たちの人生は、仕事だけではありません。長い人生ですから、なんとなく過ごす日もあると思いますが、一日一日が楽しかったと思える瞬間や、また次はどこに行こうかとワクワクするような一日が過ごせれば、仕事にも力が注げるのではないのでしょうか。

仕事は、楽しいことばかりではありませんが、成功を共に喜び、うまくいかないことを励ましあい共感できる環境が、後進を育成し、自分をも成長させてくれるものと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月15日(火)

担当者 消防署救急課 森川 達彦

おはようございます。今年から新任主査として働いております、消防署の森川です。
このような場は苦手ですが、せっかく機会をいただいたので今日は職員として意識していることをご紹介します。

私が職員として意識していることは、「周りの職員が敬遠しがちな仕事をする。」ということです。私は、地味で見えた大きな仕事ができるタイプではありませんが、そんな私がこの組織の中で役に立てるとしたら、こういう仕事かなと思って始めました。

その昔、作家のマーク・トウェインは「やったことは例え失敗しても20年後に笑い話にできる。でも、やらなかったことは、20年後、後悔するだけだ。」と言いました。私も「将来後悔するのが嫌だな」と思い、気が進まないながらチャレンジしてきました。正直、引き受けなければ良かったと思うことは沢山ありました。

しかし、思い出した時に「あの時大変だったな。でもなかなかできない経験だったなあ。考えたら、あの仕事のお陰で沢山の人の人に出会えたなあ。」こんな思いが残りました。

気が進まない仕事もやってみるとそれなりに成果があることに気がつきました。だからといってそういう仕事が欲しい訳では無いので、ご注意下さい。

20年後、マーク・トウェインの言葉が正しければ、私は、沢山の笑い話に花が咲かせていることでしょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月16日(水)
担当者 消防署大曲出張所 池田 拓磨

おはようございます。消防署大曲出張所の池田拓磨と申します。

何を書こうか迷った結果やはり防災、減災について書こうと思いました。最近発生している台風や地震、それに伴う二次災害は連日ニュースで報道され、当市においても昨年発生した北海道胆振東部地震により、今もなおその影響を受けている方々があり、復興はまだ道半ばとを感じるからです。

自然災害は、規模も含めて予測する事が極めて困難であり今後も何らかの自然災害が発生するでしょう。間違いなく、その時のために対策を講じ、準備しておく事が重要です。準備しておく物に一般的な対策として非常用の持出し袋等の備えは当然のこと、心の備えも養う必要があると私は考えます。誰しも災害時にはパニックに陥り、それがきっかけとなり周囲の不安感を煽り新たな災害を呼び寄せます。消防職員である私も同じで、パニックとはいかないまでも緊張して注意が散漫になりがちです。しかし、災害現場での経験や普段の訓練で養っているおかげで冷静な自分をより早く取り戻すことができます。自分たちの住む地域でも、多くの方がいかに早くそのパニック状態から脱し、冷静に判断し適切な行動ができる人が多いなかで、減災に対する大きな成果を生むことができるのではないかと思います。私はキャンプが大好きですが、車両の限られたスペースに荷物を効率よく積載する事や、事前に下準備をした食材を用意する事で心にゆとりができ、子供と遊ぶ時間が増え事前準備の大切さを痛感します。普段の心構えや習慣、準備から防災を意識しておく事がとても重要な事のように思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月17日(木)
担当者 総務部派遣 瀬田松 秀一

おはようございます。道央廃棄物処理組合 施設課の瀬田松です。

私は今、道央廃棄物処理組合に派遣されております。

道央廃棄物処理組合は千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町で広域のごみ焼却施設の建設を行っております。

組合では参加市町の内一番大きな千歳市にならい業務を行っております。市によって業務のやり方や考え方には大きな違いがあり最初は戸惑いましたが、現在は慣れてきました。

令和元年9月の末に入札が終わり、11月の組合議会の承認後契約し、今年度から実施設計に入ります。令和2年度は敷地造成工事、令和3年以降はプラント工事、建築工事を行い令和6年4月の本稼働開始を目指しています。

焼却施設は千歳市根志越に建設します。千歳市と長沼町の境界に近いところです。施設は非常用発電設備を備えており施設の電力は自家発電で賄うため、ごみの搬入があれば自立運転することが可能です。また、24時間稼働で1日158トンのごみを処理する能力を有しています。なぜ、24時間も稼働させる必要があるかというと、ごみを焼却するとダイオキシン類が発生します。ダイオキシン類は温度が850度以上で2秒以上熱すると消滅します。焼却温度が低下する焼却施設の始動・停止動作時に多くダイオキシン類が発生することとなります。それを防ぐため、現在のごみ焼却施設は24時間稼働することとなっています。

今後も新しい施設の稼働に向けて頑張りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張らしましょう。

放送日 令和元年10月18日（金）

担当者 政策広報課 玉山 莉美

おはようございます。政策広報課の玉山です。

突然ですが、みなさんをご自分の前回の健康診断や人間ドックの結果を覚えていますでしょうか。私は昨年の秋の健康診断で「貧血の疑いあり」という結果が出ましたが、そのとき「所詮貧血だし」と、医療機関を受診することなくそのままにしました。

今年の6月、だるさ・食欲不振・息苦しさなどで病院に行くと、かなり数値が良くない「鉄欠乏性貧血」とのことでした。毎週鉄材注射に行き、薬を服用し、現在はほとんど回復しましたが、2週間ほど寝込み、お休みをいただきました。

健康診断の結果が出てすぐに鉄分をたくさん摂取するようになり、病院に行ったりしていれば、苦しい思いをすることも、寝込んで職場に来られなくなることもなかったのだと、とても反省しました。

この出来事で私は「健康診断を受けること」そして「その結果を真摯に受け止め、生活習慣の見直しや医療機関を受診すること」の大切さを、21歳にしてひしひしと感じました。

検査は時間がかかるし不安だし、放っておいてもなんとかなる気がするし、まだ若いし、と先延ばしにしないで、しっかり検査をして悪化する前に治療するようになりたいです。

日常の業務においても、何か疑問に感じたり違和感を覚えたりしたら、すぐに自分で調べたり、他の人の意見を聞いたりして、失敗を減らせればと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月21日（月）

担当者 財政課 高橋 武士

おはようございます。財政課の高橋です。

今月で令和元年度になり、6か月が経ちました。今年度新しい部署に異動した私にとっては、あっという間だったなというのが正直な感想です。

今回朝のスピーチの原稿を作成するにあたり、この半年間を振り返ってみました。が、業務をはじめ、なかなか思うようにできなかったということが多かったです。

初めての業務や忙しさを理由に後回しにしていたことや怠けてしまっていたことが多々ありました。

半年間の振り返りをもとに、少しずつでも改善していこうと考え、まずは身近な取り組みから、とクリアデスクを意識的に実施していくことにしました。

整理していると、導入当初は気を付けていた、机周りも、ついつい明日使う資料を置いていたり、忘れてしまうからとパソコンに付箋を貼ってしまったりしていることがありました。

最初は、今だけだからと思っていたことがいつの間にか日常的に行ってしまっていたことをまた反省しました。

今後は、現在の気持ちを忘れることなく、クリアデスクを日々意識することで、良い習慣にしていきたいと思います。

令和元年度も折り返しとなり、あと半年となりましたが、公私ともに思い残すことの無いよう、メリハリのある生活を心がけ、業務等に努めていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月23日(水)

担当者 都市計画課 川口 芳幸

おはようございます。10月23日水曜日、朝のスピーチを都市計画課、川口がお送りします。

突然ですが皆さんは、「素敵なまちを未来に伝える」この言葉をご存知でしょうか。初めて聞く方も多いのではないのでしょうか。この言葉は、平成8年に策定された本市の都市景観形成計画でのテーマですので、忘れないでいただきたいと思います。

今、皆さんが一番、目にしている北広島市の風景、四季の彩りを、未来に残すことが私たちに課せられた宿題であり、美しいまちづくりは永遠のテーマでもあります。

都市計画には、このような美しいまちづくりを進めるために、様々なルールに従って業務を行っています。

現在、この「素敵なまちを未来に伝える」取組として、「未来の大切なあなたに残したい風景」と題し、今月15日から来年1月17日まで、未来に残したい市内の風景作品を募集しておりますので、ご家族、お友達などに広く宣伝していただき、応募していただきたいと思いますので、耳の奥に入れておいてください。

時代は、平成から令和へと変わりましたが、このテーマは変えることなく、いつの時代までも引き継いでいかなければならないと思います。皆さんも、いつまでも引き継いでいきたいものがあると思いますので、上手に残していけるよう頑張ってください。

最後に、都市計画課では現在、令和3年度から新たに始まる都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の策定を進めており、今後、皆様へ色々ご意見等をお聞きする機会があることと思いますので、その節はよろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月24日(木)
担当者 ボールパーク推進課 杉原 史惟

おはようございます。ボールパーク推進課の杉原です。

私はラーメンが好きで、時間を見つけては様々なお店に出かけています。そこでは、美味しい、あまり好きじゃないなど一杯に対する味の感想はもちろんですが、それ以外にも色々なことを思い、考えます。

近年、食券制を導入するお店が増えてきていますが、中には、目につきづらい場所に券売機を置いている場合もよくあります。そのようなお店で食券制だと気づかずに席に座ろうとして、店員さんに「先に食券買ってください！」などと高圧的に言われたりすると、入店して早々にお店の印象は悪くなります。

お客さんが食べ終えた食器の下げ方でも、お店の体質が見て取れます。いつまでも放置されていたり、スープが残ったどんぶりの中にコップや茶碗を放り込みながら下げていく様子は、横目で見ていてあまり気持ちのいいものではありません。

やたらとメニュー表が見づらいのも困ります。ごちゃごちゃしていて必要な情報がわからない、それでいながら、麺の種類やトッピングを最初に選ばなければいけないなど注文時の決まりごとが多かったりすると、どんどんまごついて、気恥ずかしさが大きくなってしまいます。

店員同士の私語がとても耳についてしまうお店もあります。ホールや厨房から、プライベートな内容の会話や変な笑い声が聞こえてきたりすると、なんとなく嫌な気分になります。

これらとは逆に、お客さんの方のマナーも大事だと思っています。どのお店もレジや出口近辺にゴミ箱が置いてありますが、それはお客さん自身が使ったティッシュペーパーなどを捨てる用のごみ箱です。自分が使ったティッシュを自分で捨てることは最低限の礼儀だと私は思っており、不思議なことに名店と呼ばれるお店では、お客さんのマナーもいいなと感じることが多いです。

自分たちは普段、市役所を訪れる市民などの目線にどれくらい気を付けているか。また、訪問先でどのようなふるまいをしているか。ラーメン屋で学んだことを意識しながら、今後も業務に励んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月25日(金)

担当者 ボールパーク施設課 金澤 尚也

おはようございます。ボールパーク施設課の金澤です。

昨年にボールパーク施設課へ異動し、1年4か月ほど経過いたしました。本日は本業務の中で感じたことをお話したいと思います。

ボールパーク施設課に異動してから、現在までに非常に多くの関係機関と打ち合わせをさせていただいております。これまでの打ち合わせの相手方といえば、同じ建設業のコンサルタントや工事受注者と私よりも経験・知識を持った人たちでした。そのため、自分が聞きたいことをある程度のニュアンスで説明すれば、相手が理解してくれる状況であり、打ち合わせが成立していました。しかし、今回の関係機関は必ずしも建設業関係の方に限られておりません。これまでと同様にニュアンスを伝えるような説明では、こちらの真意が伝わらないこともありました。

自分の頭の中で整理できていると思っていることも、実際には感覚的に理解していることが多く、それを相手にわかりやすく説明することは非常に難しいものだと感じております。今後も関係機関との打ち合わせが続いていきますが、業務を円滑に進めるためにも自分がなにを聞きたいのか、どのような課題があるかなど、相手に正しく理解してもらえよう説明していきたいと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月28日(月)

担当者 総務課 池端 宏記

おはようございます。総務課の池端です。

本年4月、高齢者支援課から総務課へと異動となり早、7か月となりました。

以前は、主に窓口で高齢者やそのご家族、事業所の方々と接する機会が多い仕事でしたが、現在は、庁舎内外の様々な方々と仕事をさせていただくことが多くなり、業務内容の違いに戸惑いながらも日々勉強しながら業務を行っているところです。

総務・庁舎担当は、備品の修繕であったり、多目的室や市民ギャラリーの貸し出し、新電力の供給などといった、多岐にわたる業務を行っておりますが、内部向きの仕事が多く、直接市民の方と接する機会は多いとは言えません。

市民の方々に直接仕事としてお答えすることは少ないかもしれませんが、庁舎を管理する立場から、職員の方々の働く環境をよりよくすることが、それぞれの部署でのよりよい仕事につながり、そのことが市民サービスの充実につながると考えています。

職場環境をより良くするとお話しさせていただきましたが、現状、多かれ少なかれ不満を抱いている方がいると思います。すべての事に直ちに対応することは難しいかもしれませんが、その不満に対し、総務課としてできる事を考え、市役所に来庁する方、そこで仕事をする皆さんが気持ちよく利用できる環境にするために考え行動したいと考えていますので、お気づきの点があれば気軽にお声掛けしていただければと思います。

また、仕事上とはいえ、職員だけでなく、警備や清掃の方々のご協力を得て、よい職場環境が保てていることを忘れず、感謝し、日々の業務に努めたいと思います。

気持ちの良い挨拶は職場に笑顔をもたらします。親切な市民対応は市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心に抱く大志を結集し本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月29日（火）

担当者 総務課 竹内 弘大

おはようございます。総務課の竹内です。

本日は、法制担当の主たる業務である例規審査について、話をさせていただきます。

さて、私たち公務員は、法律や条例をはじめ、様々な決まりに基づいて仕事をしていますが、社会環境のドラスティックな変化に法令を適合させていくために新規制定、改正などの例規整備を行っていく必要があります。

法制担当では、この例規整備に当たって、基本的には所管部署からいただいた原案について、審査を行っていくことになります。

まずは、内容の矛盾等について判断するためには、制定や改正の内容、制度の趣旨、概要をある程度理解しなければならないため、担当部署から提供された資料などを教科書にして制度の勉強をします。

次に、制定や改正する例規の種類にもよりますが、上位法令に反する内容になっていないか、同一例規内で矛盾した規定がないか、行おうとする制度内容を十分に反映したものであるかなどについて、確認をしていきます。また、同時に、日常生活では意識せずに同義語として使用している文言が例規上の文言として正しいものかなど、用字・用語など形式的な面の確認を行います。

一通りの確認が終わると、全体を通して矛盾や誤字・脱字がないかなどの最終確認をするわけですが、なかなかどうして、はじめは納得していた規定に疑問が湧いたり、その規定ぶりに不満足を感じるようになっていたり、おかしい箇所が見つかったりしてしまい、そうしているうちにとうとう、無限回廊の虜になるわけです。

自分の実務能力がまだまだということもありますが、何事も新しいものや良いものを生み出す際は、悩みの渦の中で苦悶するのではないかという考えの下、担当部署の方と協力・連携し、市政が前進していく一助になりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月30日(水)

担当者 職員課 佐藤 秀彦

おはようございます。職員課の佐藤秀彦です。私は職員課で臨時職員・非常勤職員の賃金等の支払いや社会保険の手続きなどを担当しています。

ご存じのとおり、臨時職員・非常勤職員については、地方公務員法等の改正により、2020年4月1日よりその大部分が「会計年度任用職員」へと移行します。

2016年の総務省の調査によれば、市区町村に勤務する地方公務員の約19パーセントは臨時職員や非常勤職員といった有期雇用の非正規職員であり、当市でも職員全体の約4割をこれらの非正規職員が占めており、一般事務のみならず教育や子育てなどの行政サービスの提供になくてはならない存在となっています。

会計年度任用職員の制度については、すでに説明会等により概要をお知らせしておりますが、新しい制度に移行後も配属先の事務担当者の方には出退勤・有給休暇の管理、賃金台帳の作成などを行っていただく予定です。今後事務担当者向けのマニュアルを作成する予定としておりますので、今後も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、任用については事前に公募を行います。その際には多くの方にご応募いただきたいと思っておりますので、周知へのご協力もよろしくお願いいたします。

このたびの会計年度任用職員制度への移行のような新しい職の設定は、地方公務員法が1950年に制定されて以来はじめてのことです。安定した行政サービスの提供のため、適切に制度を運用してまいりたいと思っておりますので、制度について疑問などがありましたらどんなことでも構いませんので私職員課佐藤までご相談ください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年10月31日(木)

担当者 職員課 猪野 由起子

みなさん、おはようございます。職員課で臨床心理士をしております、猪野由起子です。

みなさんは、円滑な人間関係を築くために、どのような工夫をされていますか？気持ちのよい挨拶や笑顔など様々な工夫があるかと思います。それだけでなく「ありがとう」と「ごめんなさい」が素直に言えたら、より良い関係を築くことができるのではないのでしょうか。

私は最近、友人とちょっとしたことで喧嘩をしました。私は謝ることが苦手で、しばらくは距離を置こうと思っていました。しかし、臨床心理士をしている友人に相談したところ「このまま放っておいても状況は変わらないから、きちんと話し合った方がいい」と言われました。融通がきかない私は「どうして私が謝らなければならないのか。向こうが謝ってくれば仲直りはできる。そもそも友人関係を続けたいと思っているかも疑問だ」と主張しました。すると「怒ると意地を張り続けるところが猪野の悪い癖だ」と言われました。凶星すぎて返す言葉が見つかりませんでした。そして、その友人からイライラしたときは、自分の気持ちや大変さを理解されない寂しさや協力してもらえない孤独感に行きつくことが多いという話をされました。私も自分の気持ちを理解して欲しかっただけなのかもしれません。それを素直に言葉にしていれば喧嘩をしないで済んだと思います。

その友人から、私は不満を口に出すと攻撃が止まらないタイプなので、最初に「ごめんね」と言い、自分自身を攻撃モードにしないこと、そして、先に謝り、私がもう怒っていないと伝われば、相手も構えずに、スムーズな話し合いができると言われました。私はこの助言を受けて、無事に仲直りすることができました。

今回の経験から「ごめんね」という言葉は謝罪の意味だけでなく、自分を落ち着いたトーンに持っていくためのものや、相手を安心させるための言葉であることに気づくことができました。謝ることはとても勇気のいることです。特に大人になると難しいと痛感します。しかし、それが言えるようになると人間関係が円滑になることがあるかもしれません。上手くできなくてもいいので、みなさんもちょっとだけ意識してみてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日お過ごしください。